



(13) 三条町南部自治会

自治会加入率

加入世帯数 88世帯 / 総世帯数 90世帯
加入率 97.8%

自治会の紹介

①活動内容について

三条町南部自治会は、平成13年に現自治会長の就任以来、①地域の安全確保、②清掃とリサイクル、③地域内の交流と連携に力を入れてきました。

① 地域の安全確保

安心して歩ける地域を目指して毎年必要箇所に防犯灯を増設し、現在までに35カ所、ほぼ整備が終了し、その管理に努めています。また西地区防犯パトロール隊に会員が毎月交代で参加し、小中学生の登下校の際の安全確認に努めてきました。

3・11の大震災を機に、パウチした一目で判る「防災のしおり」と、「ヘルメット」を各世帯に配布しました。さらに、特に高齢者比率が高い自治会であるため（90世帯で75歳以上が51名）、実践的な災害時避難訓練を企画中です。

② 清掃とリサイクル

定時収集日のごみ出しマナーの向上、ごみステーションの清掃の徹底のほか、月1回、自治会独自の資源物の回収を行い、ごみ減量化とリサイクルの推進に努めています。資源物報奨金でごみ袋を購入し、これにリサイクルの意識を促すチラシを沿えて、春の一斉市民清掃時と年末の大掃除の年2回、各世帯に配布しています。

自治会の紹介

①活動内容について

③ 地域内の交流と連携

年1回行われる総会は、自治会会則、事業の確認、役員と1年ごとに交代する各班班長との顔合わせと共に、地域の情報交換を行っています。

地区の3箇所に手づくりの街頭掲示板を設置して「市・地区の広報」に努めています。また、春に「花見会」、秋に「日帰り小旅行」を開催して会員相互の親睦を図っています。

このような交流の継続が「緊急時・災害時」において、高齢者の避難誘導など、会員相互の連携による「より迅速で安全な避難」に役立つことを期待しています。

②高い加入率を維持する秘訣

- ① 基本的には近所同士の声のかけ合いが大切です。
- ② 新たな転入者の場合、丁寧な説明によって、ほぼ100% 加入の同意が得られています。
- ③ アパート居住者で同意の得られにくいこともありますが、アパート居住単身者の場合には、自治会費を半額にする、ごみステーション清掃当番を免除するなど、柔軟に対応することによって加入を獲得しています。

防災のしおり

「もしも!」に備えて、
あらかじめお読みください。

日ごろの備え

1. わが家の安全対策

- たんすや食器棚などの転倒防止の措置を
- 重い物は高い所に置かない
- 消火器は火を使う場所の近くに置いておく
- 家具の置き場所を工夫して安全なスペースを確保しておく
- 床に散らばったガラス片などでケガをしないように、身近に厚手のスリッパを用意
- 建物の点検をして、弱い部分を補強する
- ブロック塀は倒壊しないように補強する

2. 非常用品の用意

- 家族構成を考えて2〜3日分を備えておく
- 1 飲料水 2 保存食品・赤ちゃんのミルク 3 救急医薬品類 4 携帯ラジオ・懐中電灯・乾電池 5 現金・貴重品 6 下着類・タオル・ティッシュペーパー・マッチ・ライター 8 携帯用コンロ・燃料など
- 置き場所を決め、半年に一度は点検を

3. 月に一度は、家庭で防災会議を開く

4. 日ごろから、とより近所との協力体制を

家の外の安全対策

- 屋根がわらにひび割れやずれがあれば補強する
- テレビアンテナをしっかり固定する
- ベランダの落ちやすい場所に重い物を置かない
- プロパンガスは鎖でしっかりと固定する
- ブロック塀の耐震性をチェックし、必要に応じて補強する
- エアコンの室外機の安定性を点検、つり下げ式の場合は固定金具にさびやがたつきがあれば補強する



1に安全、
2に消火

グラツときた時の10の心得

1 家の中にいたら

- まず身の安全（頭をザブトンなどで保護し、テーブルなどの下に身をふせる）
- タイミングよく火の始末（できるだけ早く。でも、大揺れの時はじっと我慢）
- あわてて外に飛び出さない（ガラスや屋根がわらなどが落ちてくるので危険です）
- 戸を開けて出口を確保（ドアがゆがんで閉じ込められることがあります）

2 外にいたら

- 落下物、ブロック塀に要注意（手やカバンなどの持ち物で頭を保護する）

3 デパートや地下街などにいたら

- 係員の指示に従って落ち驚いて行動（大勢の人がいる場所では一番こわいのはパニックです）

4 エレベーターに乗っていたら

- 最寄りの階ですぐ降りて避難する（万一閉じ込められたら落ち驚いて救助を待つ）

5 自動車を運転していたら

- 左側に寄せて停車し、カーラジオの情報を注意（避難する時は、キーはつけたままで）

6 電車に乗っていたら

- 固定してあるものをつかみ、まず身の安全を確保（車内放送に従い、パニックに注意）

7 山や海にいたら

- がけくずれ、津波に注意し、すばやく避難（津波警報が出たら、ラジオ・テレビの情報に注意）

8 けが人が出たら

- みんなで助け合い、適切な応急処置を（日ごろから応急手当の知識を身につけておく）

9 避難が必要になったら

- 持ち物は最小限にして、徒歩で避難（協力しあって、指定された避難場所へ）

10 正しい情報で冷静な行動

- ラジオなどからの正しい情報に従って行動（決してデマで動かない）

三條町南部自治会

非常持出品を準備しよう

万一のときにすばやく避難できるように、日頃から非常持出品の準備をしておきましょう。



一次持出品

持出品を欲張りすぎると避難時に支障が生じます。男性で15kg、女性で10kgを目安に。

貴重品



現金、権利証書、預貯金通帳、免許証、健康保険証など

トランジスタラジオ



予備電池は多めにストックしておく

懐中電灯



予備電池も忘れずに

衣類



下着、上着、タオル、紙おむつなど

応急医薬品



絆創膏、傷薬、包帯、抗生物質、病人やお年寄りの常備薬を忘れずに

非常食品



かんぱん、缶詰など火を通さなくても食べられる物。ミネラルウォーター、水筒など



二次持出品

二次持出品は、災害復旧までの期間（最低3日分）を自足できるように準備しておくものです。

食品

米（缶詰やレトルトのごはん、アルファ米も便利）缶詰やレトルトのおかず、菓子類、梅干しや調味料



かんぱんや缶詰、インスタント食品だけでは主食にならない。米は必ず準備しておこう。割り箸、コップ、皿、ナイフなど調理や食事に必要な用品もチェック。

水

飲料水は一人1日3ℓを目安に。煮沸してから飲む



飲料水は一人1日3ℓが目安。ポリタンクなどにストックしておく。飲料水として使うときは必ず煮沸してから。子供や病人にはミネラルウォーターを。生活用水（炊事洗濯・洗面・トイレなどに使う）や消火用水は浴槽や洗濯機に貯水しておく。

燃料

卓上コンロ 固形燃料



卓上コンロのガスボンベは十分なストックが必要。炭炭や木炭を使用するときは、換気や火災に注意。

お年寄りや乳幼児用食品も用意

粉ミルクや離乳食、高齢食、お粥など子供やお年寄り・病人のことも忘れられないように。



平成 23 年 9 月 8 日

三条町南部自治会
会員の皆さまへ



三条町南部自治会
会長 大関 勇

三条町南部自治会「秋の交流会」のご案内

天候不順が続きますが、会員の皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。

さて、9月3日に行われました自治会役員会において、昨年に引き続き「秋の交流会」を開催することとなりました。災害時に備え、防災訓練も欠かせませんが、常日ごろから顔合わせしておくことも大切かと存じます。

ご多用とは存じますが、会員の皆さまが多数参加され、うっとうしさを吹き飛ばす「楽しい顔合わせ会」となりますことを祈りつつ、ご案内申し上げます。

記

- 日時：平成 23 年 10 月 23 日（日曜日）
午前 8 時 30 分 出発 - 午後 4 時 30 分 頃 帰着
- 行き先：**益子・つかもと**
陶芸館（陶芸教室）⇒ 登り窯工場（見学）
⇒ レストホール（昼食）
⇒ 美術記念館・平成館・ギャラリー作家館（見学）
つかもと平成館：竹久夢二展
つかもと美術記念館：棟方志功展
⇒ 帰路へ
- 交通：自家用車分乗、
あるいは参加人数に合わせてバスを予約します
- 会費：1500円
- 申し込みは、9月20日迄に「各班長へ」



登り窯



美術記念館

「秋の交流会」参加申込書

氏名	班	参加人数